
2018年湘南カップ帆走指示書

SAILING INSTRUCTION

変更箇所が発生した場合には、公式掲示板に発表されます。

湘南カップ（以下、本大会という）はレーザー材木座フリートの主催により2018年7月15日（日）、材木座フリート（逗子市小坪5-14-2 コーポ渚1B）に本部を置き、鎌倉沖にてレースが開催される。

1. 競技規則

- a) この帆走指示書によって変更のある場合を除き、レースを通じて国際セーリング競技規則2017-2020、日本セーリング連盟規程、インターナショナルレーザークラスルールを適用する。
- b) 艇をチャーターした場合のセイルナンバーはチャーター艇の艇体ナンバー、あるいはチャーターする本人の艇のナンバーにあつたものでなければならない。但し、レース委員会に届出をしたものはこの限りでない。

2. 運営者の責任範囲

日本セーリング連盟、日本レーザークラス協会、公式役員及びボランティアは、大会期間中における人身事故、物品の損失及び個人的な負傷、あるいは事故に関して、一切の責任を負わない。

これらの帆走指示書の規定は、競技者自らのセーリングするヨットの取扱いに関し、唯一かつ完全な責任を有する競技者個人の全面かつ無限の責任を一切制限したり、減じたりするものではない。

3. エントリー

- a) インターナショナルレーザークラス協会の当年度メンバーのみ本大会に出場する事が出来る。
- b) 大会の全レースを通じて、エントリーフォームにヘルムスマンとして、その名を記した者が乗艇しなければならない。

4. 帆走指示書の変更および選手への通告

この帆走指示書の変更および選手への通告は、その日の最初のレースのスタート予定時刻の遅くとも1時間半前までに、公式掲示板に書面で提示される。

5. 公式掲示板および

陸上における信号用マスト

公式掲示板はレース本部および逗葉、江ノ島の各フリートに設置される。陸上における信号用のマストはレース本部のすぐ脇に設置される。

6. 陸上における信号

- a) 陸上における信号は、陸上の信号用マストより発せられる。
- b) 陸上の信号用マストに“V旗”が展開（音響信号1発）された時は、いかなる選手も“V旗”が降下（音響信号1発）されるまで出艇してはならない。
- c) 陸上の信号用マストに“AP旗”が展開（音響信号2発）された時は、レースは延期され、予告信号は“AP旗”降下（音響信号1発）後1時間以降に発せられる。

7. 計測

濡れた衣類の計測および装備のチェックは、レース委員会の判断により、大会中、随時行う事がある。

8. 安全

- a) 各選手は、ライフジャケットあるいはウエストコースト型救命具を、出艇中は常時着用しなければならない。ウェットスーツはこれらの代用とはみなされない。
- b) レスキューボートに救助を求める必要がある場合には“手のひらを広げて”振り、その意志を表わすこと。救助の必要のない場合は“こぶしを握って”振ること。
- c) 必要とみなされた場合に、各選手は帆走困難の艇を放棄してレスキューボートに乗艇するよう命じられることがある。これらの安全に関する指示に従わない場合、失格となる場合がある。
- d) 直径6mm以上、長さ5m以上のパウラインをパウアイに付けておかなければならない。

9. 出艇・帰着申告

- a) 出艇、帰着申告にはサインオン、サインオフシステムを採用する。各艇は出艇前にレース本部もしくは逗

葉、江ノ島の各フリートに設置する所定の用紙にサインオンして出艇し、かつ当日の最終レースにおけるプロテストタイム内にサインオフしなければならない。

b) この手続きが履行されなかった場合、全てのレース得点をDSQとされる。ただしプロテストタイム終了後15分以内にレース本部もしくは逗葉、江ノ島の各フリート代表者に当事者より2000円の反則金が支払われた場合、そのヨットのフィニッシュ順位に戻される。

10. レース日程

a) 7月15日(日)

8:00 選手受付

8:30 艇長会議

10:00 第1レース予告信号

以後順次レース実施

16:30 レセプション&表彰式

b) レース予定数は3レースとする。

11. クラス旗

- ・スタンダードクラス：白地に赤
- ・ラジアルクラス：緑字に赤
- ・4.7クラス：黄地に赤

のレーザーマークとする。

12. スタート

a) スタートラインはオレンジ旗を掲げたコミッティーボートのマストと帆走指示書15 b) に示されているスターティングマークとの間とする。

b) 参加艇はスタート信号後5分以降にスタートしてはならない。

c) 各スタート順は原則としてラジアル+4.7→スタンダードとするが、エントリー数によって変更する場合には公式掲示板にて通知される。

d) レース消化状況によっては、海上のレース委員会の判断でスタート順の変更や合同スタートを実施する場合がある。

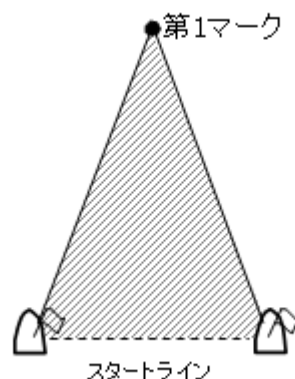
13. スタートの罰則ルール

a) 通常の罰則ルール

黒色旗が準備信号として掲揚されない場合、すべてのレースにU旗が掲揚され、下記のルールが適用される。

(RRS 29を変更)

「スタート信号1分間の間に、ハル、乗員あるいは儀装の一部がスタートラインの両端と第1マークを頂点とする三角形に入ったと確認された艇は、審問無しにそのスタートから失格とされる。ただし、レースが再スタートまたは再レース、またはスタート信号前に延期または中止された場合は失格とされない。」



b) “黒旗”の罰則ルール

i) RRS 30.3 [黒色旗規則] に下記を追加する。

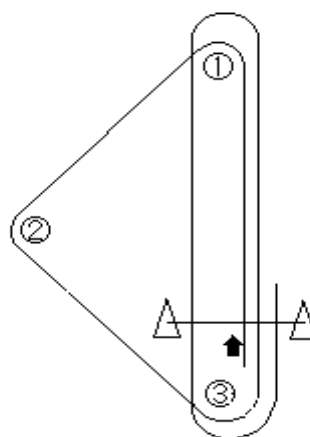
セイルナンバー、リコールナンバーは2分以上掲示される。ナンバーの掲示と同時に音響信号1発が発せられる。ナンバーの提示された艇は、新たな準備信号以前にレースエリアを離れなければならない。

ii) レースエリアの定義は下記の通りとする。

- ・スタート信号前
スタートラインから100m以内。
- ・スタート信号後
ヨットが通常のレースで帆走するであろうと思われる場所から100m外側に引かれた仮想線の内側。

14. コース、及びレースエリア

a) レースエリアは、添付レース水域図(p4参照)上におよそ示された水域である。



b) コースは下記に示す通りとする。

スタート-①-②-③-①-③-フィニッシュ

15. マーク

a) マーク①, ②, ③はオレンジ色カバーを付けた細長円筒形ブイとする。変更マークは黄色のボンテンとする。

b) スターティングマークはオレンジ旗を掲げたコミッティーボートのマストとする。ただし、コミッティーボートが救助等で間に合わない場合は、赤旗のボンテンを使用する。

c) フィニッシングマークは緑旗のボンテンを使用する。

16. マークの位置およびフィニッシュの移動

下記の通りRRS33 [次のマークの位置の変更] を変更する。

a) レース委員会は、マークの移動の間、すべての選手のセーリングに影響を与えないと判断した場合、スタート後に、コース上の1つまたは複数のマークの位置や、フィニッシュラインの位置を移動したり、あるいはレグを伸ばしたり縮めたりすることがある。

b) コースは、通常マークの位置を変更することが不可能な場合には、1つあるいは複数の変更用マークを使用してセットし直される場合がある。(変更用マークは黄色のボンテン) 変更用マークがすでにセットされている場合には、コースが通常マークを使用してセットし直される場合がある。

c) コースを大きく変更した場合には、変更による影響のある最初のレグが始まる地点付近に位置するコミッティーボート上に“C旗”が展開される。

d) コースが変更された場合、ヨットはコースの変更を指示しているコミッティーボートとその近くのマークとの間を、そのコミッティーボートを右側に見て通過しなければならない。この場合RRS28.1 [コースの帆走] は次のように変更される。「ヨットの航跡で示す線はマークあるいはコースの変更を指示しているコミッティーボートの定められた側に触れなければならない。」

e) 可能な場合には、断続的に音響信号を発する。

f) レグの伸縮を示す“+”および“-”の信号は示されない。

17. リタイア

レース中、もしくはフィニッシュした後にリタイアする艇は、帰着前に本部船にその旨を報告しなければならない。トラブルにより本部船に寄れない場合にはレスキュー艇に報告して帰着する。また帰着後はレース本部にリタイア帰着報告をしなければならない。

18. コース短縮

3レグ以上を消化した場合のみ、コースを短縮することがある。

19. フィニッシュライン

フィニッシュラインは“青旗”を掲げたコミッティーボートのマストと、帆走指示書15 c) に示されているフィニッシングマークとの間とする。

20. タイムリミット

トップ艇フィニッシュ後、15分以内にフィニッシュした全ての艇に順位が与えられる。その他の艇は、フィニッシュしなかった艇(DNF)としての得点が与えられる。

(RRS35 [タイムリミットと得点] を変更)

21. プロテストタイム

a) プロテストタイム(抗議提出時間)は、最終レースにおける最終艇のフィニッシュ後、できるだけ速やかに開始される。プロテストタイム終了時刻は、プロテスト委員会により延長されない限り、開始後1時間とする。

b) プロテストタイム終了時刻およびその延長は、公式掲示板に掲示される。

22. 抗議

a) プロテストフォーム(抗議書)はレース本部および逗葉、江ノ島の各フリートに用意される。

b) 全ての抗議は、書面にてプロテストタイム内にレース本部に提出されなければならない。

c) 抗議はプロテストコミッティーにより審問される。抗議の時間と場所は、プロテストタイム終了20分後に公式掲示板に掲示される。

d) 抗議に関する艇は、プロテストタイム終了20分後に公式掲示板に発表される。公式掲示板を確認し、抗議の審問に出席すること(証人を含む)は、当事者各個人の責任による。

抗議に関係する参加選手は、指定された場所において呼び出されるまで待たねばならない。抗議者、あるいは被抗議者が出頭しなかった場合には、一方あるいは両方の当事者不在のまま審問が行われる。

位上位者には賞が授与される。

以上

23. 得点方式

得点方法にはR R S付則Aの低得点方法を適用する。ただし3レースまたはそれ以下の場合にはすべてのレースの合計を得点とする。最低1レースをもって本大会は成立する。

24. チームボート

延期信号が発せられない限り、チームボート及びサポートは、最初の予告信号から、最終艇のフィニッシュまでの間、レースエリアに入ってはならない。延期信号が発せられた場合は、その信号が発せられてから、延期信号降下後、最初の信号までの間、チームボートはレースエリアに入ってもよい。

このインストラクションに違反した場合、関連するヨットをシリーズ全体から失格の対象とする場合もある。

但し、本部船の要請がある場合や緊急でレスキューの必要がある場合にはレースエリアに入ることができるものとする。

25. コミッティボート

1. 本部船： オタスケ丸Jr. (材木座フリート)

2. ア
ウタ
ー

艇：
し
のぶ
(材
木座
フリ
ート)



26.

賞

各ク
ラス
の順